

リース方式による担い手の育成

事業名：経営構造対策事業（平成 14 年度認定）
 地区名：愛知県御津町御津地区
 事業主体：ひまわり農業協同組合
 管理主体：各施設利用組合
 施設名：複合経営促進施設 18 棟 15,514.1 m²（H 14）
 事業費：144,921 千円（国費：69,010 千円）

1. 各組織の概要

組織名	いちご施設利用組合	いちじく施設利用組合
構成員	12 名	3 名
設立年月日	平成 14 年 8 月 9 日	平成 14 年 11 月 29 日
業務内容等	農産物（いちご、いちじく）の生産・販売及びキャベツ苗の育苗を行う、地区内の露地野菜農家へ安定した苗の供給を行う。	
連絡先	ひまわり農業協同組合 中部営農センター 0533-85-1234 http://www.ja-himawari.com/	

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

御津地区においては、都市化の進展等により農家戸数の減少（H7：560 名 H12:518 名）、高齢化が進み担い手不足が進行（基幹男子農業専従者のいる農家 H7:138 戸 H12:114 戸）していた。

一方、施設花き、果樹の生産農家の中には規模拡大による経営の安定を図る農家がいるものの、初期投資が過大となることから規模拡大に踏み切れなかった。

(2) 取組概要

平成 14 年度から経営構造対策事業により整備した複合経営促進施設（いちご、いちじく栽培）を意欲ある農家にリースすることに

より、効率的・安定的な農業経営体の育成を支援しているところである。

このような取り組みの結果、事業実施 2 年度目にして認定農業者が 20 名から 50 名に大幅に増加したところである。

現在、リース参加者を中心とした高収益の施設栽培による担い手の確保等を推進することにより、当地区の抱える課題の解消に取り組んでいるところである。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率（%）、下段：面積（ha）			遊休農地の解消	
計画時 （人）	目標 （人）	増加率 （%）	市町村目標割 合（%）	地区目標割合 （%）	計画時	目標	増加率 （%）	計画時 （ha）	目標 （ha）
20	95	475.0	18.3	18.3	(41.3%) 188.8	(56.2%) 257.0	14.9	0.0	0.0

(2) 地区選択目標

女性の経営参画		露地野菜における作業受委託推進	
計画時（戸）	目標（戸）	計画時（ha）	目標（ha）
2	7	0.0	4.0

整備施設

施設全景



施設内部（いちじく）

